



去る八月七日、大島中津宮に於いて恒例の七夕祭が島を挙げて厳粛に斎行され、燈籠の明りの中、夜半まで中津宮境内は賑わいをみせた。これに併せ今年も「元気な島づくり事業推進協議会」とのタイアップにより「宗像大島七夕まつり」を催行し、天の川原のもと彦星と織姫の一年に一度の逢瀬の一刻が演出された。

七夕祭当日、早朝より沖・中両宮奉賛会、同敬神婦人部、元気な島づくり事業推進協議会、他(島内各種団体)の御奉仕により渡船ターミナルから中津宮境内周辺の七夕装飾が行なわれ、大島は七夕の雰囲気一色に彩られた。

島外からの参拝者も午後より続々と大島を訪れ、夕刻には、七夕祭りのイベント会場となる港湾緑地公園に浴衣姿の島民も加わ

# 津宮七夕祭

一年に一度の逢い



<p>守りたい環境がある。</p>	<p>育てたい才能がある。</p>	<p>届けたい楽しさがある。</p>	<p>支えたい人がいる。</p>
-------------------	-------------------	--------------------	------------------

安心をカタチに、生きがいデザインする麻生グループ

ASO GROUP WE DELIVER THE BEST

<http://www.aso-group.jp/>

残暑御見舞い申し上げます



り、会場は大変な賑わいをみせた。午後六時よりはステーションイベントとして地元大島の小・中学生による合唱や演奏、また九月十七日に宗像ユリックスで公演が予定されている「ミュージカルむなかた三女神記」のミニ公演、ジャグリング等が催された。また公園には島民による出店や、神賑わいとして、沖・中両宮翼賛会奉仕によるかき氷やヨーヨー釣り等が開かれ、参拝者を楽しませた。島の子供達が境内に据えられた竹灯に点灯、幻想的な雰囲気



言祝ぐ祝詞を奏上、次に参列者はそれぞれの祈りを込めて玉串を捧げた。又、祭典後には伝統の七夕踊りも奉納され、島を訪れた人も島民も皆で輪になり、神人和楽の一夜を共にした。午後九時三〇分、大島港より臨時渡船が出され、島外の参拝者はそれに乗船し帰路についた。この中津宮七夕祭の歴史は鎌倉時代まで遡ることができ、以来島民によって絶える事無く伝承されてきた神事であり、各家庭や施設においても七夕飾りをして、次の世代へと受け継がれている。

気にも包まれた。今年も「愛の赤い糸プロジェクト」が行われ、司会による中津宮七夕伝説が朗読される中、天ノ川を挟んで鎮座する「牽牛神社」と「織女神社」を結ぶように空中に通されたチューブの中を赤い発光液が流れ、両宮が赤い糸で結ばれると参拝者から歓声が上がった。午後七時五十分、「牽牛神社」「織女神社」の御前で、厳粛に七夕祭を斎行。斎主が年に一度仕え奉る逢瀬を

**七夕伝説発祥の地**

今日では季節の風物詩として全国各地で行われている「七夕」。まつりの規模が小さいためか知る人ぞ知る話ですが、中津宮七夕祭は少なくとも鎌倉時代まで遡ることができ七夕伝説発祥の地といわれています。

「正平年中行事」(一三四六)には「七月七日、七夕虫振神事」とあり、境内にある牽牛社、織女社に参籠し、水に映る姿によって男女の縁を定める信仰があると記されています。

「続風土記」十六大島の条には、境内に「天の川」が流れ、牽牛社(彦星宮)、織女社(七夕宮)があること、さらに七月一日より七日間男性は彦星宮で、女性は七夕宮で参籠(お籠り)後、祭壇を設けて星祭(七夕祭)を行った。そして三つのタライに水を入れ、その三つそれぞれに想う男性の姿が映ればその男性と結ばれると記されている。

「古今集榮雅抄」では、同様に七日間参籠後、上中下に水を入れたタライをおき、そこに男性の名前を書いて祭事を行えば、その水面に映る姿で男女の縁を決めたとあります。さらに昔より大島では男児を得たいと思う人は牽牛の祠に、女兒を得たいと思う人は織女の祠に詣でるといふ信仰もあります。

これらの信仰は大陸から伝えられたと考えられますが、商人によって都へ伝えられ書物に登場したようで、中津宮の七夕信仰が古くより中央にまでその名が知られていたことを物語っています。

宗像大社御神酒醸造元  
**勝屋酒造合名会社**  
社長 山本 博次  
福岡県宗像市赤間4丁目1-10  
TEL(0940)32-3010 <http://www.katsuyashuzo.com>

地球に優しいひとときを…

**Genkai Group**

玄海グループ

〒811-3502 福岡県宗像市江口978-52  
TEL 0940-62-0653 FAX 0940-62-1565  
URL <http://www.genkai-g.co.jp>

(有)玄海環境サービス (宗像市.許可業)  
一般廃棄物収集・運搬  
浄化槽の維持管理

玄海クリーン(有) (宗像市.委託許可業)  
一般・産業廃棄物収集・運搬・処理

残暑御見舞い申し上げます

# 国内最大級の液化石油ガス(LPG)大型タンカー「アストモスアース」に宗像大神を奉斎

去る七月三十日、三菱重工業・長崎造船所(長崎市)に当大社神職三名が出向、液化石油ガス(LPG)大型タンカー「アストモスアース」の宗像大神鎮座祭並びに鎮座奉祝祭が就航を目前に執り行われ、宗像大神が奉斎された。

同船は、アストモスエネルギー(株)の新たな大型LPG船で全長二三〇メートル、幅三六・六メートル、最大積載量

約二万トンを誇る環境効率に優れた画期的な国内最大級の巨大タンカーで、三菱重工業(株)長崎造船所香焼工場にて建造された。同社は、出光

興産(株)・三菱商事(株)両社が、LPGガス事業拡大を目指し、平成十八年に設立。専業会社としてLPGガス取扱量は世界最大級となり、国内需要の



「アストモスアース」全景



船内操舵室(神殿前)

約二十パーセントを担うLPGガス企業である。本船の就航・運航については、タンカー運用の経験豊富な出光タンカー(株)が中心となっている。出光のタンカーには宗像大神が奉斎されており、その経緯により当大社に同船の宗像大神奉斎の祭典依頼があった。

祭典は同船



操舵室にて午前十一時より出光タンカー(株)中田常務・柿本船長以下関係者・乗組員参列のもと鎮座祭が行われ、船霊として海神でもある宗像大神を船内の神殿に鎮祭した。次いで午後二時よりは同社・後藤社長も参列し、鎮座

奉祝祭が行われ、当大社葦津敬之禰宜より同船の御加護と国威発揚・社業益々の発展を祈念する祝詞が奏上された。引き続き神職二名が大麻・切麻にて巨大な同船を祓い清めて、祭典は滞りなく終了した。

社名「アストモスエネルギー」の「アストモス」とは、「明日を明るく灯す」意より作られた造語との事。よって船名「アストモスアース」とは、「地球の明日を灯す」との意にも転化できる。実際に同船の運航は、我が国だけでなくアジア圏のLPG供給に活躍を期待されている。出光・日章丸のアバダン港入港(昭和二十八年)より五十九年、エネルギー事情を含め日本を取り巻く国際環境は荒波の如く変化して今に至る。同船が我が国の生命線であるエネルギー安定供給の確保のみならずアジア共栄の架け橋となり、活躍される事を心よりお祈り申し上げます。

## 宗像建設協力会

事務局 〒811-3217 福津市中央6丁目2-28 TEL (0940)42-0323

株式会社 井上建設  
〒811-3217 福津市中央6丁目2-28  
TEL 0940-42-0323  
FAX 0940-42-0327  
井上 重信

株式会社 桜井建設  
〒811-3217 福津市中央6丁目2-28  
TEL 0940-42-0327  
FAX 0940-42-0327  
桜井 孝弘

株式会社 篠崎建設  
〒811-3217 福津市中央6丁目2-28  
TEL 0940-42-0327  
FAX 0940-42-0327  
篠崎 剛

株式会社 田畑建設  
〒811-3217 福津市西福岡三-1-10  
TEL 0940-42-0327  
FAX 0940-42-0327  
田畑 博規

株式会社 日新建設  
〒811-3217 宗像市田原四丁目1-36  
TEL 0940-36-2231  
FAX 0940-36-4798  
長尾 榮次

松本組建設 株式会社  
〒811-3217 宗像市神湊一〇二〇  
TEL 0940-62-1116  
FAX 0940-62-1116  
松本 真誠

残暑御見舞い申し上げます

# 夏越の大祓式

## 夏越祭併せ 明治天皇百年奉告祭齋行

七月三十一日午後五時、真夏の強い西日が照りつける中、夏越の大祓式が神門にて古儀に則り厳肅に齋行された。

大祓式は奈良時代の昔より神祇

官の命により、国家的神事として行われてきた儀式であり、一年を二期に分けた最後の日、旧暦六月と十二月の晦日に罪・穢れを祓う神事で宮中・神宮を始め全国の神社で行われている。

当大社では新暦の七月晦日の三十一日に夏越祭と併せ齋行している。

当日は早朝より田島地区総代・協会の御奉仕により、近くの堤で茅刈り作業が行われ、直径五メートルにも及ぶ濃緑の見事な茅の輪が奉製され、神門に備え付けられた。

古来、この茅の輪を三度潜れば邪気・罪穢れ・災難を祓い、心を和め、暑気にも負けず、健康やかな生活を送る事ができるといわれている。

午後五時、全国から寄せられた「紅白の人形」が納められた唐櫃が、茅の輪の前に供えられ、高向宮司以下神職、巫女、多数の氏子崇敬者等が参列し大祓式が開始された。葦津敬之禰宜が「大祓詞」を宣読、続いて

古歌を奉唱しながら茅の輪を潜る一同



大祓詞宣読

参列者は配られた「切麻」で己を祓い、「祓物」に息吹を吹きかけて切り裂き、半年間の罪・穢れを祓い清めた。

続いて、宮司以下参列者全員で茅の輪を左に廻り

水無月の夏越の祓へする人は千歳の命延ぶといふなり

次に茅の輪を右に廻り

思ふこと皆つきねとて麻の葉を切りに切りても祓ひつるかな

さらに茅の輪を左に廻り

宮川の清き流れに禊せば祈れることの叶はぬはなし

100% anniversary of Toyota  
おかげさまで  
タクシー生誕100周年

## 宗像タクシー協会

〒811-3436 宗像市東郷1丁目5番2号  
連絡先 TEL(0940)36-6555

新星交通有限公司(会長)

代表取締役 森 正彦

宗像市東郷一丁目五番二号  
東郷営業所  
TEL 〇九四〇・三六・二一三八

みなとタクシー株式会社

代表取締役 古野 浩

宗像市赤間駅前二丁目三番一四号  
TEL 〇九四〇・三三・一三三一

宗像西鉄タクシー株式会社

代表取締役 久家日佐夫

宗像市自由ヶ丘二・七三  
TEL 〇九四〇・三二・四一三一

宗像グリーンタクシー有限公司

代表取締役 藤瀬 政敏

宗像市河東一〇六一  
TEL 〇九四〇・三三・三三〇三

宗像平和タクシー株式会社

代表取締役 塩川 浩一

福津市中央三丁目八・一一  
TEL 〇九四〇・四二・〇〇四〇

福栄タクシー有限公司

代表取締役 保井 享

福津市西福岡二丁目一〇・三  
TEL 〇九四〇・四二・〇三七三

宗像交通有限公司

代表取締役 塩川 浩一

福津市津屋崎七一九五  
TEL 〇九四〇・五二・〇〇一五

残暑御見舞い申し上げます



夏越祭 併せ 明治天皇百年奉告祭

と古歌を奉唱しながら三度茅の輪を潜り、本殿へと参進した。引き続き本殿にて夏越祭併せ明治天皇百年奉告祭が斎行され、国家皇室の安泰と繁栄、氏子崇敬者をはじめ、全国から人形を寄せられた方々の無病息災・家内安全を祈念する祝詞が奏上され、巫女による神楽「豊栄舞」を奉奏し、滞りなく終了した。

本年は平日ではあったが、昨年引き続き多くの方々に御参列頂いた。流れる汗を拭いながら参列されていたものの、神事を終えると清々しい表情が溢れていた。

宗像のプロラグビーチーム  
福岡サンックスブルース 必勝祈願祭

去る八月十九日、宗像を本拠地とするラグビーチーム「福岡サンックスブルース」の必勝祈願祭が本殿にて行われ、監督・選手・関係者等が参列し、九月一日に開幕するジャパンラグビートップリーグ(日本最高峰のラグビーリーグ)での必勝を祈念した。

昨季の戦績は、四勝九敗の十一位と奮

わなかつたが、今季は「RUN」というチームスローガンを掲げ、今一度原点に立ち返り、欲を捨て、不必要なものをすべてを削ぎ落として走り極めた、とのこと。

参列した選手等の日に焼けた小麦色の肌は頼もしいに輝き、グラウンドで躍動する姿が目

に浮かんでくるようであった。

今季トップリーグでの益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



明治天皇の崩御から百年、崩御日である七月三十日には全国各地の神社で奉告祭が斎行されたが、当社ではこの夏越祭に併せ斎行し、参列した多くの方が近代日本の礎を築かれた明治天皇を偲んだ。



ご奉仕頂いた総代・協力会の皆様

## 玄海ホテル旅館組合

玄海国定公園の中心  
一風光明輝、生魚料理、宗像大社となり

玄海ロイヤルホテル ☎ (0940) 6214111	国民宿舎ひびき ☎ (0940) 6211288	みなと荘 ☎ (0940) 6212255	松風荘 ☎ (0940) 6210120	はなわらび ☎ (0940) 6210107	高嘉旅館 ☎ (0940) 6211221	玄海旅館 ☎ (0940) 6210001	魚屋別館 ☎ (0940) 6213355	魚屋本店 ☎ (0940) 6212122
-------------------------------	-----------------------------	--------------------------	-------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

残暑御見舞い申し上げます

第57回

# 中津宮七夕揮毫会

## 子供達約一七〇名参加の下、大島で開催

暑い日射しが照り返す七月三十日、当大社中津宮の鎮座する筑前大島において恒例の中津宮七夕揮毫会が開催された。この日参加した県内各地の幼稚園児から中学生まで約一七〇名の子供達は大島ならではの一日を満喫した。



揮毫に臨む児童たち

暑い日射しが照り返す七月三十日、当大社中津宮の鎮座する筑前大島において恒例の中津宮七夕揮毫会が開催された。この日参加した県内各地の幼稚園児から中学生まで約一七〇名の子供達は大島ならではの一日を満喫した。

当日は好天に恵まれ開催地大島は勿論、県内外各地から多くの子供達がフェリーにて来島し、揮毫会場である大島小・中学校の校舎へ移動、各教室の席上にて日々の練習の成果を発揮しようと筆先に神経を集中させ、学年ごとに与えられた課題に懸命に挑んだ。生徒達は清書時間三〇分の限られた時間内で書き終えた三枚の中から自信作一枚を選出し、中津宮に提出した。

正午過ぎ、全作品が提出されると、早速御神前に奉納し奉告祭を斎行、参加者の学業成就と健康を祈念する祝詞が奏上された。祭典後、直ちに福岡書道会の先生方によって厳正な審査が行なわれた。その間、緊張から開放された子供達は神社



前の砂浜にて、大島の方々のご協力で行われている恒例のサザエ拾いや海水浴を楽しみ、大島ならではの大自然を満喫した。

午後三時には審査も終わり、早速境内回廊に入選作品が展示され、続いて拝殿前にて表彰式が行われた。渡邊福宜が挨拶を行い、荒牧菁峰審査員の講評、次に入賞者へ賞状とトロフィーが授与された。この表彰式をもって、本年の七夕揮毫会の日程を全て終え、参加者は受賞品を胸に喜々として神社をあとにした。

終わりにこの揮毫会に際し、例年の事ながら一方ならぬお世話を頂いた、大島小・中学校、福岡書道会の先生方をはじめ多くの皆様に、紙面より厚く御礼申し上げます。



**創業嘉永三年(1850年)**  
伝統に支えられた宗像神湊の味。  
**ナカマル醤油醸造元**  
宗像市神湊1118  
TEL 0940-62-0003 FAX 0940-62-0353

**SHIROYAMA**  
暮らしの夢を大きくひらく **城山家具**  
宗像市三郎丸(旧国道3号線・三郎丸バス停前)  
☎0940-33-5538(代表) FAX 0940-33-6351  
http://www.shiroyamakagu.jp

**の専門**  
**上田清商店**  
〒811-3304  
福岡県福津市津屋崎4丁目16-6  
Tel 0940-52-0148 Fax 0940-52-5488

**宗像農業協同組合**  
本店 代表理事組合長 伊規須 国光  
宗像市東郷4丁目3番1号 TEL 0940-36-4110  
支店長 占部 俊成  
田島支店 宗像市深田 61-2 TEL 0940-62-1515

宗像大社御神酒  
合資会社 **伊豆本店**  
代表者 伊豆善也  
福岡県宗像市武丸1060  
TEL 0940-32-3001 FAX 0940-33-0512

印刷のことなら何でもお尋ねください  
**中川印刷**  
福津市津屋崎4丁目11-27  
電話 0940-52-0044  
FAX 0940-52-0414

残暑御見舞い申し上げます



恒例の「かがやがい」



御神前に奉納

## 第57回 中津宮七夕揮毫会 各受賞者は下記の通り

福岡県知事賞	本松 尚子	小学5年	津屋崎小学校	宗像市議会議長賞	川端 隆嗣	小学5年	津屋崎小学校
//	福山 真奈美	中学3年	城山中学校	//	高田 みのり	中学2年	津屋崎中学校
福岡県議会議長賞	城戸 美穂	小学6年	上西郷小学校	福津市議会議長賞	福山 朱凜	小学6年	赤間小学校
//	門田 理美	中学2年	自由ヶ丘中学校	//	萱野 未於	中学1年	城山中学校
福岡県教育委員会賞	江藤 菜津美	小学4年	舞の里小学校	宗像市教育委員会賞	花田 朋	小学3年	津屋崎小学校
//	鶴 侑希	中学1年	自由ヶ丘中学校	//	赤星 広子	中学3年	城山中学校
宗像大社宮司賞	石津 志乃	小学3年	津屋崎小学校	福津市教育委員会賞	平木 佑磨	小学1年	三筑小学校
//	上妻 由華	中学2年	津屋崎中学校	//	川端 麻椰	中学2年	津屋崎中学校
宗像市長賞	師岡 杏奈	年長	山王幼稚園	宗像観光協会賞	福田 七海	小学4年	赤間小学校
//	花田 翔平	中学1年	津屋崎中学校	//	宮本 千穂	中学1年	広川中学校
福津市長賞	伊豆 ゆい	小学2年	赤間小学校	福津市観光協会賞	本松 里佳子	小学2年	津屋崎小学校
//	丸山 あき奈	中学3年	広川中学校	//	松岡 朝佳	中学3年	福岡東中学校

柗石賞9名、福岡書道会賞9名、尚文堂賞9名、ヒロカネ賞15名、金賞38名

宗像・玄海の観光物産品卸



**花田食品株式会社**  
代表取締役 花田 洋  
宗像市田熊6丁目3番27号 TEL 0940-36-5533

---



創業大正七年 鮮魚・海産物  
福岡県宗像市神湊1141  
TEL 0940-62-0006(代)  
FAX 0940-62-2143

---

**遠藤クリーニング**  
代表 柴村 勲  
〒811-3501 宗像市神湊635  
Tel 0940-62-0217

出光興産株式会社販売店  
東京海上日動火災保険(株)代理店



**吉井商事株式会社**  
代表取締役 吉井 英海  
本社 宗像市深田67-7  
TEL 0940-62-0004 FAX 0940-62-3343

---

**ファミリーストア 岡山**  
岡山 秀雄  
福岡県宗像市神湊1000  
TEL 0940-62-0134  
FAX 0940-62-2914

---

食料品・青果・たばこ  
**田中商店**  
福岡県宗像市神湊1052  
TEL・FAX 0940-62-0122

残暑御見舞い申し上げます

# 沖ノ島を史跡部門、動植物部門から調査

## 宗像三宮の保存管理計画策定に伴う

世界遺産登録推進室 岡 崇

宗像大社には文化財指定を受け、たざまざまな動産や不動産があり、国指定重要文化財(旧国宝)指定の総社・辺津宮の本殿及び拝殿、一括国宝指定(平成十八年)を受けた沖津宮祭祀遺跡出土品、宗像三宮(沖・中・辺津宮)をはじめ沖津宮遙拝所までの境内地が国指定史跡(昭和四十六年)、さらに沖ノ島は「沖ノ島原始林」として国指定天然記念物



測量風景

(大正十五年)の指定を受けており、一社でこれほどまでに文化財を保有している神社は全国でも稀でしょう。そのような中、平成二十四年八月に開催された「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議で、構成資産の候補が「沖ノ島」と「沖津宮・中津宮・辺津宮」、「新原・奴山古墳群」に決定。今後平成二十八年度の登録を目指し、その価値をさらに追求していくこととなります。

現状の大きな課題として、これらをとどのような手段で未来永劫、価値を損なうことなく守り続けていくことができるかがあります。言葉で言うほど容易ではなく、具体的にどのような方法で守っていくのか、これをまとめてマニュアル化していく作業が保存管理計画で、これは世界遺産に登録するために必要ということではなく、本来すでに策定されていなければならぬものなのです。

この保存管理計画策定のための最初の一步として、先月七、十日の四日間で沖ノ島内の調査を行うこととなりました。

調査は史跡部門と動植物部門で行われ、史跡部門は沖ノ島祭祀遺跡周辺の1/200の図面作成と每木調査、さらに沖ノ島全島の構造物、工作物の調査を行いました。

沖ノ島祭祀遺跡は、既に三次に亘る調査(昭和二十九、四十六年)によつて詳細な図面が作成されており、今回の調査ではこの遺跡を国家座標に載せて地球上のどこにあるのかを決めるための場所の確定を行いました。さらに前回の調査を終えてから四十年以上経過した現在、毎木やオミズナギドリの巣が遺跡にどのような影響を与えているのかを把握するための調査を行いました。

動植物部門は沖ノ島の植生についてポイントを設定して調査が行われ、「沖ノ島原始林」の主体をなすタブノキ原生林には、ナタオレノキ、ヒゼンマユミ、ムサシアブミ、フウトウカブラ、オニヤブソテツ、ノシラン、ハマビワ、アカメガシワといった特徴的な植物の分布域を把握し、植生図の作成における基礎調査を行いました。またこの調査の途中、島の北東端においてネズミが確認され、島全島にネズミが分布していることも今回明らかになりました。

宗像の漁家と農家の手作りの味道の駅むなかたレストラン



おふろ食堂  
**はまゆう**

TEL (0940) 62-2821

店休日  
毎月第4月曜・盆・年末年始  
営業時間  
午前11時～午後4時  
オーダーストップ 午後3時半

折尾名物 かしわめし弁当

株式会社  
**東筑軒**

北九州市八幡西区堀川町4-1

TEL (093) 601-2345  
(受付時間 年中無休 8:00～17:00)  
FAX (093) 601-2570  
ホームページ  
<http://www.tochikuken.co.jp/>

残暑御見舞い申し上げます





タガキ

価値ある史跡や天然記念物の、経年劣化や自然環境の変化は避けることの出来ない課題であり、現状を把握し今後の保存管理の方向性を導きだし、その後も適切に保護管理されているかをモニタリングしていくことは、次世代へと引き継ぐための大切な使命だと考えています。

今後は沖ノ島(沖津宮)のみならず、信仰の中心地である総社・辺津宮、さらに中津宮境内の史跡や毎木の調査も実施し、宗像三宮全体の保存管理計画を策定していく方向で、来年度に調査結果に基づく保存管理計画の報告書を策定致します。

## 宗像護国神社戦没者慰霊祭 田島千灯明

八月十五日午後七時、日清日露戦争より大東亜戦争までに戦没された宗像郡内二千五百七十六柱の英霊を祭る宗像護国神社にて、戦没者慰霊祭・田島千灯明が斎行された。

当日は好天に恵まれ、境内参道の両端には提燈・蠟燭により、明かりが灯され、千灯明の荘厳な雰囲気の中、大社神職四名の奉仕、宗



戦後約七十年が経過し、遺族や当時を知る人も少なくなっている。我国の礎となられた英霊の「公」の精神を学び伝えなければならぬと思う。

像・福津両市の遺族会、田島区関係者参列のもと、英霊の御霊を慰めた。祭典終了後は宗像市消防団第十二分団が警備に当たり、田島区育成会による花火が行われ、子供たちの楽しい声が響いていた。



花火を楽しむ子供たち



福かき(熊手)  
福み、縁起物全般  
初詣、十日戎祭用品  
製造卸

**ES えびすしまだ(株)**

〒669-1211  
宝塚市大原野字北宮本11番地  
TEL 0797-91-0044 FAX 0797-91-1330



【授与品と装束】

**京都奉製株式会社**

本社営業所 京都市左京区静海市原町1291-25

電話 (075) 741-3221

フリーダイヤル 0120-164124

福岡営業所 福岡市博多区板付5-3-11

電話 (092) 592-3015

残暑御見舞い申し上げます

6日	大矢	福本	細川	田中	二村	小野	坂根	大久保	石松	中村	中村	板井	打越	17日	戸田	谷村	西原	柳田	15日	増田	小田	田切	智智	安波	平田	中村	野間	7日	村々	上木	裕美	佐々	公一	繩手	下川		
6日	大矢	福本	細川	田中	二村	小野	坂根	大久保	石松	中村	中村	板井	打越	17日	戸田	谷村	西原	柳田	15日	増田	小田	田切	智智	安波	平田	中村	野間	7日	村々	上木	裕美	佐々	公一	繩手	下川		
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	
遠	賀	北	福	北	神	北	神	北	北	北	北	鹿	福	宗	福	北	宗	北	北	福	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	
賀	郡	九	津	九	奈	九	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈	奈
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市



# 神前結婚式挙式者芳名

末長いお幸せをお祈り致します。

(平成24年4月～8月)

## 宗像大社 秋季大祭(田島放生会)のご案内

宗像大社秋季大祭(田島放生会)日程

当大社最大の神事、秋季大祭を下記日程で斎行致します。皆様の御参拝を心よりお待ちしております。

10月1日(月)	みあれ祭 (海上神幸)	9:30	大島港出港
		10:30	神湊港入港
10月2日(火)	一日祭 (入御祭)	12:00	於=辺津宮 本殿 主基地方風俗舞 奉奏
	流鏝馬神事	8:00	於=神門前 参道
10月3日(水)	二日祭	11:00	於=辺津宮 本殿 翁舞 奉奏
	三日祭	11:00	於=辺津宮 本殿 浦安舞 奉奏
10月3日(水)	高宮秋季大祭 第二宮・第三宮 秋季大祭 宗像護国神社 秋季大祭		三日祭終了後引き続き、 各社に分かれ同時斎行 (11:40頃を予定)
	献茶祭	14:00	於=辺津宮 本殿
	高宮神奈備祭	18:00	於=辺津宮 高宮祭場 悠久舞 奉奏



お問い合わせ先 宗像大社 社務所(0940)62-1311(代)

(続)

# 浜の寄物

270

いしいただし



昭和二十年(一九四五)四月六日十五時二十分、水上特攻艦は戦艦大和、巡洋艦矢矧、駆逐艦八隻が山口県徳山から

出撃した。天一号作戦と呼ばれた。航空機の掩護なし、燃料は片道分のみ、(実際の満たんであったという)沖縄に突入し艦が砲台となって上陸した

米軍を撃滅するというものである。世界に誇った連合艦隊の寂しすぎる姿であった。

戦艦大和は日本が世界に誇る巨大戦艦、口径四十六cm三連装三基九門の砲を備えたもので、公式排水量六八、二〇〇トン、水線長二五六m、最大幅三十八・九m、速力二十七ノット。竣工は昭和十六年(一九四二)、広島県呉工廠。同形艦には武蔵がある。

大和を護衛する巡洋艦・矢矧は昭和十八年(一九四三)佐世保工廠で竣工した。新鋭の

軽巡洋艦で排水量六、六五二トン、水線長一七二m、主砲十五cm砲六門ほか、高角砲、機銃をもつ、速力三十五ノット、水上偵察機二機を搭載、主な戦歴はマリアナ沖海戦、レイテ沖海戦に参加している。昭和二十年のこの頃には無傷巡洋艦は二隻しかなく、その一隻であった。十七年以降、日本海軍は各海域の海戦に敗れ、残存艦艇は僅かであった。

大和護衛の駆逐艦八隻は、陽炎型濱風、磯風、雪風、秋月型秋月、涼月、初春型初霜、朝潮型霞、夕雲型朝霜。若松の軍艦防波堤となったのは涼月と冬月である。

涼月は冬月と同じく防空駆逐艦として、秋月



型十一隻の三番艦として、昭和十七年(一九四二)十二月に三菱重工長崎造船所で竣工している。冬月は昭和十九年(一九四四)五月、舞鶴海軍工廠で竣工、基準排水量二、七〇〇ト

ン、常備排水量三、四七〇トン、水線長一三二m、最大幅一・六m、速力三十三ノット、乗員四五〇名、涼月も秋月型で屯数、性能もほぼ同じである。

昭和二十年四月六日大和以下水上特攻隊は十隻が山口県徳山から出撃、矢矧を先頭に駆逐艦が一系列縦陣に並んで大和が最後尾、瀬戸内海から豊後水道へと向かった。

七日午前六時、艦隊は大隅海峡へ、矢矧と駆逐艦九隻は半径約一・五キロの円を作り、中心に大和が位置する輪形陣で進んだ。すでに特攻艦隊は米潜水艦や偵察機に見えられていた。

十二時四十一分、米軍は戦艦、雷撃機、爆撃機が数波にわたり攻撃を加えた。十四時二十三分、大和は多数の魚雷、爆弾を受け、大爆発とともに沈没、北緯30度43分17秒、東経128度4分00秒徳之島の西方二十哩の洋上であった。沖縄まで約五〇〇km、噴煙は一、〇〇〇m近くに達したという。



巡洋艦矢矧と駆逐艦、霞、朝霜、磯風、濱風の五艦沈没、冬月、初霜、雪風、涼月の四隻は大破ないし損害を受けながらも大和、矢矧の生存者を救出し佐世保に帰艦している。大和の乗員数三、三三二名、生存者は僅か二七六名であった。雪風は三名の戦死者、冬月は一〇名、涼月は一〇〇名であった。初霜は戦死者ゼロであった。

# 宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メロ



北九州市 八幡西区

豊田 光子

兵器工廠に加担せし日を語るなく白髪ふえたる髪を乾かす  
戦争責任の問題と誠実に向き合う作者の姿勢に打たれる。工廠  
で兵器作りに加担せしを語らざるまま白髪ふえたりとしてみた。

福津市 若木台

野間 精一

万葉のツチハリはれんげそうにあらず牧野富太郎の植物記は説く  
ツチハリはツクバネソウの異称とのこと。初句から三  
句までは牧野富太郎の言葉ならば括弧で括つては。事  
実だけを述べてなお作者の感慨が伝わる歌。

福津市 若木台

山崎 公俊

大いなる驚であつたと前世を語るがごとし風の大樟  
魅力的な一首。風にゆれる楠の木を大樟と見た作者の想像力が  
すばらしい。結句は(風に立つ樟)、(風のなかの樟)などしたい。

宗像市 田久

田中 國廣

青森の地図に記さるる町名に力士の名前すぐに頭ちくる  
発想が面白い歌だが、どこの町の名で誰を思い出すの  
か、それが知りたい。町名を入れられたら読者に良く  
分かる歌になっただろう。

うきは市 浮羽町

向 則正

梅多く気弱にすぎず昼過ぎに孫と遊びてしばし安らぐ  
この夏も暑さが厳しい。気も弱くなりがちな作者はお  
孫さんと遊ぶことで気が晴れるのだ。三句を(暑き午後)  
とすると気弱さに説得力が出るのでは。

福津市 中央

池浦千鶴子

水張り田に富士山白く写りあていつもの如く田植はじまる  
作者は富士山の近くで田植を手伝うのだろう。富士  
山を強調したので上句・下句を入れ替え(常のごと  
田植え・)と始めては。映るは(映る)に。

宗像市 土六

山本 静子

われなりの体操をとてはじむればそこそこかしこに痛みあり処  
運動不足解消に体操を始め、使い慣れない筋肉が痛む  
のだろう、一分かる、分かる」と頷いてしまふ。四句は腰・  
腿など具体的に、結句は(痛みのはしる)に。

宗像市 日の里

大和美由紀

雷のごろごろ鳴りて飼犬は幼子のごとわれに付き来る  
犬も雷は苦手なのだろうか、作者の後ろから離れずに  
付いて来る様子が微笑ましい。初句・二句は入れ替え  
(ごころごと)を先にすると歌が引き締まる。

福津市 星ヶ丘

佐々木和彦

点くまでにまのある壁の玄関灯そのかん花瓶の水仙匂ふ  
暗い玄関に匂う水仙を繊細な捉え方で詠んだ歌。上の  
句がやや説明的なので(玄関に灯の点くまでの時の間  
を間に匂へり花瓶の水仙)としてみた。

宗像市 田久

巻 桔梗

とき色の肉のきれはし付きるたり抜かれし割れ歯の三つそれぞれに  
客観的な描写が生々しい。作者はひたすら抜かれた歯  
を直視しているのだ。二句はこのままでは食肉のよう  
なので(小さき歯肉片)としてはどうだろう。

宗像市 大島

杉田 禮子

夕暮れの浜に涼めば船陰に老いの夫婦の語らふ声す  
情景のよく分かる好感の持てる歌。浜の涼しさと老いた夫婦の睦  
ましい会話のさまが想像できる。四句は(老いたる夫婦の)としたい。

宗像市 池田

森 龍子

傘をさすほどもなき雨あぢさゝは小躍りするの垣根にぎはし  
雨を喜ぶ紫陽花を擬人化した楽しい歌。作者の気持ち  
がよく分かるが、少し抑え(傘要らぬほどの小雨を歡  
ぶや垣のあぢさゝ色の鮮やか)くらいにしては。

## 選者詠

よき筈だせぬ思案はさておきて鍋に落とさん胡麻のあぶらを  
爪のさき青くよこしてバジルつむ飛蝗のくひし穴あるもませ

# 俳句作品集

宗像市 日の里

花田いつ枝

夏野行く阿蘇の五岳を真近にし

## 9月祭事暦

- 1・15日 月次祭  
午前10時～  
高宮祭  
第二宮・第三宮祭  
宗像護国神社祭(1日)
- 午前11時～  
総社祭  
※1日は引き続き風鎮祭斎行  
浦安舞奉奏(1日)  
豊栄舞奉奏(15日)
- 23日 午前10時～  
皇霊殿通拝式
- 31日  
秋季大祭宵宮祭  
総社地主祭 午後5時～  
宵宮祭 午後6時～

## 編集後記

日本が揺らいでいる▼相次ぐ我国への侵犯。国土は国の基本であり、今断固とした対処を示さなければならぬ。的に国土は蹂躪される▼更には天皇陛下への非礼。このような我国にとつて最も許し難い行為を平気でやつてける国が近隣にはある▼東アジアに「平和」とはいつ訪れるのか。(鈴)

発行所 宗像大社事務所・宗像会

住所 〒811-1350

福岡県宗像市田島1333-1

電話 (0940)611-3111(代)

発行人 葦津幹之

編集人 大塚宗延・鈴木祥裕

制作・印刷 ゼネラルアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共 1,000円